後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	担当部	財務部
基本施策	3	活力あるまちづくりを支える公共財産の有効活用		
単位施策名称	1	公共施設の適切な財産管理		
施策の方向性	●公共施設の定期的な点検を実施するとともに、適切な維持・保全を行い、住民サービスの向上を図ります。 ●公共施設の有効な活用方法を研究・検討し、その可能性を探求します。			

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	実施計画期間中の改修実施施設数（累計）	施設	目標値		3	7	10	14	15
			実績値	-	3	6	9	12	14
			達成状況		達成	未達成	未達成	未達成	未達成
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	公共施設の定期的な点検を実施しました。 計画どおり3施設の改修を実施しました。
R4	公共施設の定期的な点検を実施しました。 改修予定施設のうち1施設（府中南小学校留守家庭児童会）について、秋季に行った入札が不調となり、再入札を行ったことから事業を繰越したため、目標は未達成となりました。
R5	公共施設の定期的な点検を実施しました。 改修予定施設のうち1施設（空城山公園管理棟）については、公園全体のリニューアル計画が進行中であり、事業執行を保留しました。
R6	公共施設の定期的な点検を実施しました。 改修予定施設のうち1施設（マイ・フローラ南交流センター）については、隣接地への公共施設整備の検討を行うため、事業執行を保留しました。
R7	公共施設の定期的な点検を実施しました。保留中の1施設（マイ・フローラ南交流センター）については改修を実施しましたが、残る1施設（空城山公園管理棟）については、リニューアル計画との兼ね合いで事業執行を保留したため目標は未達成となりました。

・評価及び対応方針

R3	公共施設等適正管理推進事業債の事業期間が延長されたこともあり、施設の安全確保・長寿命化のため、引き続き計画どおりの事業実施に努めます。
R4	未達成となった1施設について、引き続き着実な事業執行を目指します。
R5	概ね計画どおり進捗しています。
R6	
R7	未達成となった1施設について、引き続き着実な事業執行を目指します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位:千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	公共施設維持保全事業	129,171	125,037	176,055	186,318	264,253	880,834
2	公共施設ネーミングライツ事業	-363	-1,511	-2,849	-3,036	-3,036	-10,795
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		128,808	123,526	173,206	183,282	261,217	870,039

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	公共施設維持保全事業	事業番号	431101
担当部署名	町民生活部　府中南交流センター、教育委員会　教育総務課		
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	3 活力あるまちづくりを支える公共財産の有効活用		
単位施策	1 公共施設の適切な財産管理		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ マエダハウジング府中町ふれあい福祉センターの屋根・外壁改修を実施しました。 ○ 商工会事務所・安芸府中商工センターの屋上防水工事を実施しました。 ○ 府中小学校体育館・特別教室棟の屋根・外壁改修を行いました。
R4	○ 町立南体育場体育館の外壁改修工事を行いました。 ○ 府中南小学校区放課後児童クラブの屋根・外壁改修工事の発注を行いましたが、入札不調があるなど、年度内に工事を完了することができませんでした。 ○ 旧消防団第2分団詰所については、令和4年10月から解体工事を開始し、令和5年2月に解体工事完了させました。
R5	○ 府中東小学校（校舎・屋内運動場）の屋根・外壁改修を実施し、完了しました。 ○ 令和４年度からの繰越事業として、府中南小学校区放課後児童クラブの屋根・外壁の改修工事を実施し、完了しました。 ○ 桃山町営住宅解体工事を実施しました。 ○ 柳ヶ丘集会所解体工事を実施しました。
R6	○ 府中緑ヶ丘中学校校舎の屋根・外壁改修を実施し、完了しました。 ○ 府中東地区センターの屋根・外壁改修工事を実施しました。 ○ 環境センター管理棟の外壁改修工事を実施しました。
R7	○ マイ・フローラ南交流センターの外壁改修工事を実施し、完了しました。 ○ 府中北小学校校舎等の屋根・外壁改修工事を実施し、完了しました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	事業進捗率	%	目標値	21.7	37.9	55.1	77.2	100
			実績値	15.8	30.2	51.2	73.3	100
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	事業の進捗状況を把握するため、事業進捗率を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	129,171	0	0	115,498	0	13,673
R4	125,037	0	0	103,724	5,000	16,313
R5	176,055	4,667	3,259	139,664	13,261	15,204
R6	186,318	0	0	165,700	15,000	5,618
R7	264,253	0	0	264,253	0	0
合計	880,834	4,667	3,259	788,839	33,261	50,808

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	維持保全計画に基づき、マエダハウジング府中町ふれあい福祉センターの屋根・外壁改修、商工会事務所、安芸府中商工センターの屋上防水、府中小学校体育館・特別教室棟の屋根・外壁改修を実施しました。施設・設備の老朽化により、修繕の頻度が高くなっています。
R4	町立南体育場体育館の外壁改修工事は年度内中に完了しました。府中南小学校区放課後児童クラブの屋根・外壁改修工事は入札不調があり、令和５年２月に再入札を行い、令和５年度に事業を繰り越しました。旧消防団第2分団詰所については、令和4年10月から解体工事を開始し、令和5年2月に解体工事を完了させました。
R5	計画どおり事業を実施しました。
R6	計画どおり事業を実施しました。
R7	計画どおり事業を実施しました。

・評価及び対応方針

R3	今後は、日常的な保守管理業務や定期点検等を適切に実施し、施設の維持管理に努めます。 学校施設については、今後も安心・安全で質の高い教育環境の整備を進めます。
R4	府中南小放課後児童クラブの屋根・外壁工事については、令和５年度に繰り越し、６月中旬に完了予定です。旧消防団第2分団詰所を解体撤去し、跡地は県に返還しました。今後は新たな消防団詰所を地域防災の拠点として住民の安心安全を推進していきます。
R5	今後も引き続き、安心・安全で質の高い教育環境の整備を行います。
R6	今後も引き続き、安心・安全で質の高い教育環境の整備を行います。
R7	今後も日常的な保守管理業務や定期点検等を適切に実施し、施設の維持管理に努めます。 学校施設についても引き続き、安心・安全で質の高い教育環境の整備を行います。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	維持保全計画に基づき、マエダハウジング府中町ふれあい福祉センターの屋根・外壁改修、商工会事務所、安芸府中商工センターの屋上防水、府中小学校体育館・特別教室棟の屋根・外壁改修を実施しました。施設・設備の老朽化による修繕の頻度が高くなっており、修繕に追われている状況です。
R4	課長分析に同じ
R5	予定どおり事業を執行しました。
R6	予定どおり事業を執行しました。
R7	予定どおり事業を執行しました。

・評価及び対応方針

R3	今後も、日常的な保守管理業務や定期点検等を適切に実施し、施設の維持管理に努めます。 学校施設については、今後も安心・安全で質の高い教育環境の整備を進めます。
R4	課長評価に同じ
R5	施設の耐用年数や劣化度を勘案した予防保全型改修は、維持管理上有効であり評価します。
R6	施設の耐用年数や劣化度を勘案した予防保全型改修は、維持管理上有効であり評価します。
R7	施設の耐用年数や劣化度を勘案した予防保全型改修は、維持管理上有効であり評価します。

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	公共施設ネーミングライツ事業	事業番号	431102
担当部署名	財務部　管財課		
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	3 活力あるまちづくりを支える公共財産の有効活用		
単位施策	1 公共施設の適切な財産管理		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○　令和3年5月6日～6月7日の間で公募を行い、応募のあった以下の2施設について協定を締結しました。 ・府中南交流センター パートナー：野村乳業株式会社 愛　称　名：マイ・フローラ南交流センター 期　　間：令和3年10月1日～令和13年9月30日 ネーミングライツ料：36万円/年(税抜) ・府中町ふれあい福祉センター パートナー：株式会社マエダハウジング 愛　称　名：マエダハウジング府中町ふれあい福祉センター 期　　間：令和3年10月1日～令和8年9月30日 ネーミングライツ料：30万円/年(税抜)
R4	○　令和4年3月29日から随時募集を行い、以下の2施設について協定を締結しました。 ・くすのきプラザ　大アリーナ パートナー：学校法人府中石田学院 愛　称　名：認定こども園つばめホール 期　　間：令和4年9月1日～令和7年8月31日 ネーミングライツ料：50万円/年(税抜) ・空城山公園 パートナー：社会福祉法人エフアイジイ福祉会 愛　称　名：チェリーゴード空城パーク 期　　間：令和4年9月1日～令和7年8月31日 ネーミングライツ料：80万円/年(税抜)
R5	○　令和4年3月29日から随時募集を行い、以下の施設について協定を締結しました。 ・揚倉山健康運動公園 パートナー：新和金属株式会社 愛　称　名：WACTORYパーク揚倉山 期　　間：令和5年6月14日～令和8年6月13日 ネーミングライツ料：80万円/年(税抜)
R6	○　公募施設はすべて協定を締結し、順調な事業執行となっています。
R7	○　公募施設はすべて協定を締結し、順調な事業執行となっています。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	施設数（累計）	施設	目標値	2	3	3	4	4
			実績値	2	4	5	5	5
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	公共施設を活用した自主財源の確保を図るため、ネーミングライツを導入した施設数を指標としました。							

４．コスト情報（決算※歳入）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	363	0	0	0	363	0
R4	1,511	0	0	0	1,511	0
R5	2,849	0	0	0	2,849	0
R6	3,036	0	0	0	3,036	0
R7	3,036	0	0	0	3,036	0
合計	10,795	0	0	0	10,795	0

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	事業開始年度において、開始当初から積極的な広報活動（企業訪問等）を行い、事業目標2件を達成しました。
R4	応募の条件（期間の短縮等）を見直し、募集期間を定めない随時募集を行ったことで、2件の応募があり目標を達成しました。
R5	前年度から応募条件見直しを行い、募集期間を定めない随時募集を行ったことで、昨年度に引き続き1件の応募があり目標を達成しました。
R6	前年までに早期目標達成できたことにより、対象施設5施設すべてにおいて通年でのネーミングライツ料が納付され3,036千円の歳入を確保できました。
R7	前年に引き続き、対象施設5施設すべてにおいて通年でのネーミングライツ料が納付され3,036千円の歳入を確保できました。

・評価及び対応方針

R3	更なる自主財源の確保を図るため、応募のなかった施設について、募集方法の変更等、協定締結に向けた方策の検討を行います。
R4	残る対象施設について、他事業への転換等、検討・調整を行います。
R5	一定以上の成果を得ており事業目標は達成しています。
R6	前年までに対象施設やネーミングライツ料の見直しを柔軟に行い、早期目標達成できたことにより、300万円を超える自主財源を確保でき、一定以上の成果を得ています。
R7	目標値を超える5施設で単年度300万円を超える自主財源の確保、計画期間合計で1,000万円を超える自主財源の確保ができ、一定以上の成果を得ました。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	新たな事業で、手探りの部分も多くありましたが、情報収集や手法検討などに積極的に取り組んだ結果、事業目標の2件を達成しました。
R4	応募要件を見直し随時募集に切り替えた結果2件の応募があり、目標を達成しました。施設の表記等についても施設管理者等と応募者の調整を丁寧に図り、応募者の意向を生かしたものに変更することができました。
R5	応募条件見直しを行った結果、R4年度に引き続き目標値を上回る実績値を得ることができ、一定の効果を得られました。
R6	4年連続目標値を達成しており、事業目的を完遂しました。
R7	計画期間内での目標値をすべて達成しており、事業目的を完遂しました。

・評価及び対応方針

R3	応募のなかった施設について、募集方法を変更し、募集を継続します。協定締結後の改善点を洗い出し、よりスムーズな協定締結のための方策を研究します。
R4	地元銀行の協力を仰ぐ等応募事業者の募集についても工夫をし事業を行っています。その結果、公共施設については残る1か所についても応募があり、十分な成果を上げていると考えます。つばきバス及びバス停については他事業への転換等を検討しています。
R5	一定以上の成果を得ており事業目標は達成しています。
R6	公共施設の愛称名を日常的に耳にするようになり、町民生活への浸透が見られるようになりました。
R7	計画期間内での目標値をすべて達成しており、合計で1,000万円を超える自主財源の確保ができました。